



会社説明会および  
2009年10月期第2四半期  
決算説明会資料

2009年6月18日  
株式会社 ミロク  
(証券コード 7983)



# 目次

- I. 会社概要 …… p.2
- II. 2009年10月期第2四半期連結決算 …… p.14
- III. 2009年10月期連結業績予想 …… p.21
- IV. 自動車関連事業の現状と今後 …… p.28



# 会社概要



# 会社情報

- 社 名 株式会社ミロク(大証2部上場)
- 本社所在地 高知県南国市篠原537-1
- 代表者 代表取締役社長 弥勒 美彦
- 創業/設立 1893年2月/1946年7月(2003年5月 持株会社体制移行)
- 資本金 863百万円(発行済株式総数 15,027千株 2008年10月31日現在)

## ■ 事業内容及びグループ企業

セグメント名称	主な事業内容	グループ企業	
猟銃事業	猟銃の製造及び販売	◎ミロク製作所 ◎香北ミロク ※ミロク工芸	◎ミロク精工 ◎梶原ミロク
工作機械事業	深孔加工機・工具の製造及び販売	◎ミロク機械	◎MIROKU MACHINE TOOL INC.
自動車関連事業	自動車用ハンドルの製造及び販売	◎ミロク製作所	※ミロクテクノウッド
その他の事業	木工製品の加工及び販売	◎ミロク製作所	◎馬路ミロク

◎:連結子会社 ※:持分法適用の関連会社

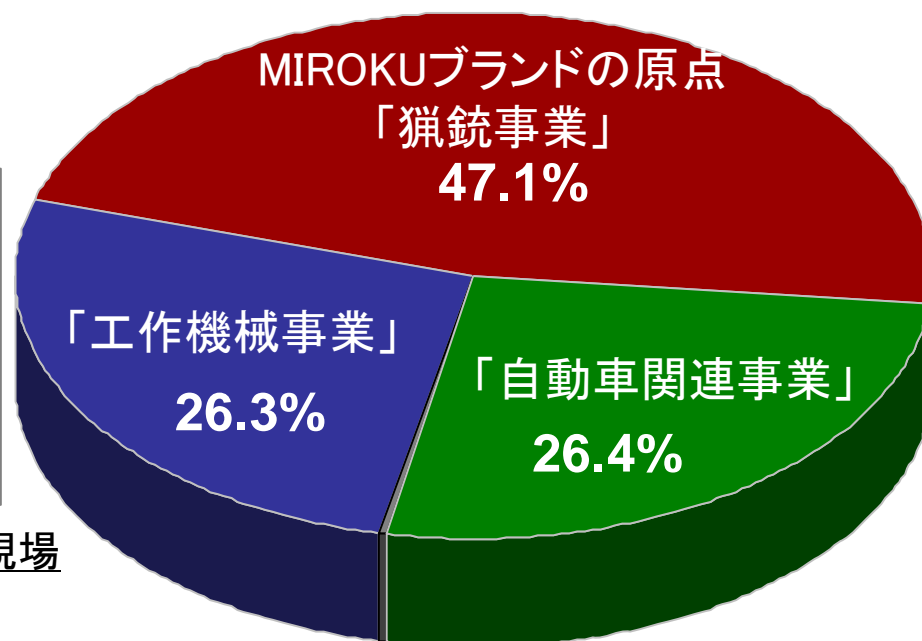
# MIROKUグループの特色：事業構成

1. 「猟銃の製造」が中核事業の一つ。わが国では珍しい事業構造。
2. 「猟銃づくり」の技術をベースに中核3事業へと多角化に成功。
3. 中核3事業の“強み”を活用した事業展開を推進中。

連結売上構成：15,223百万円(08/10期)



世界屈指の猟銃づくりの現場  
から生まれた事業

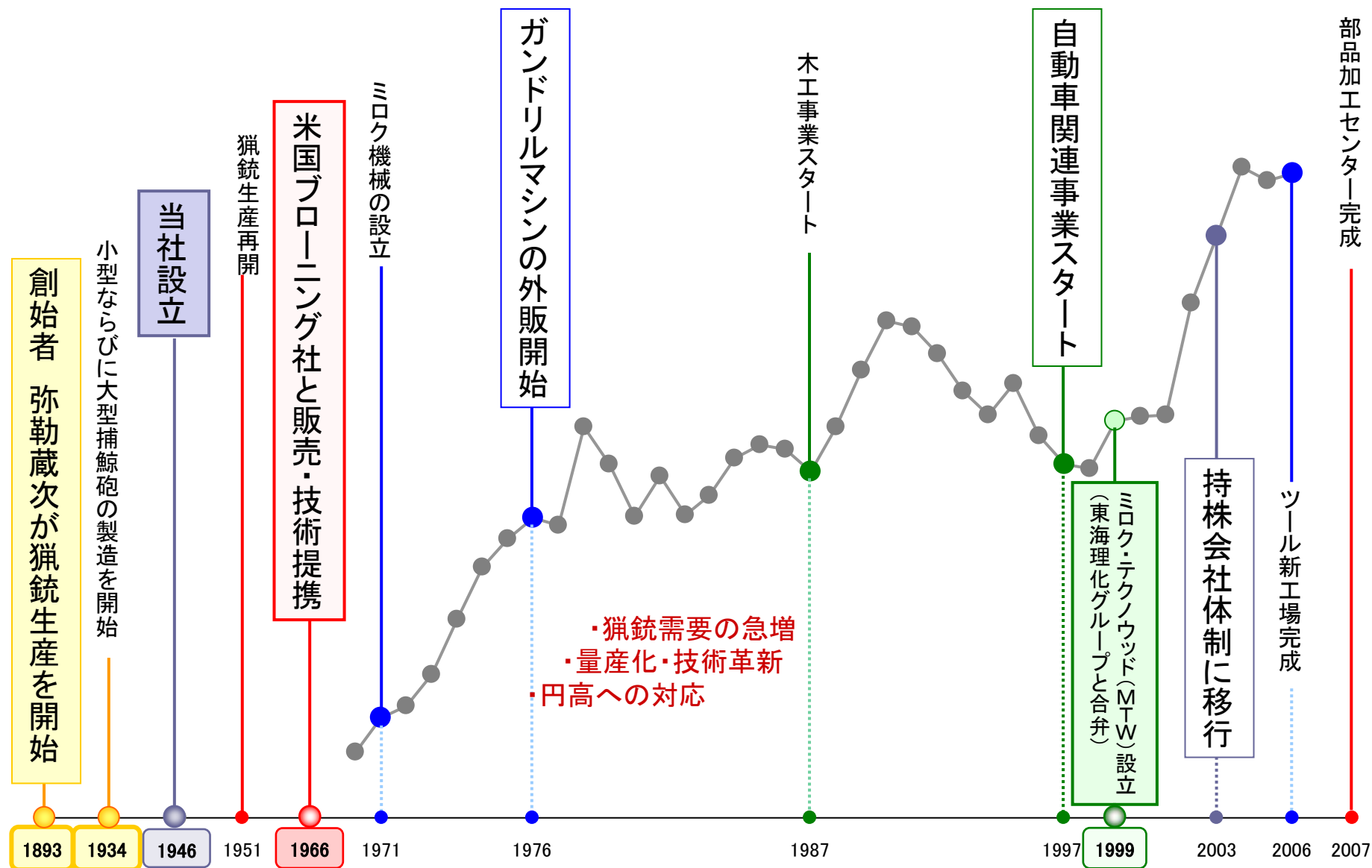


「その他の事業」0.2%



工業製品の代表「自動車」  
に活かされる“匠の技”

# MIROKUグループの特色：発展の軌跡

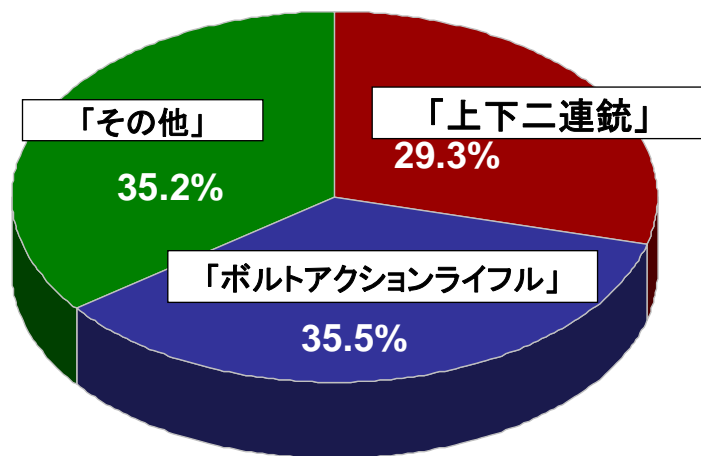


折れ線グラフは売上高の推移

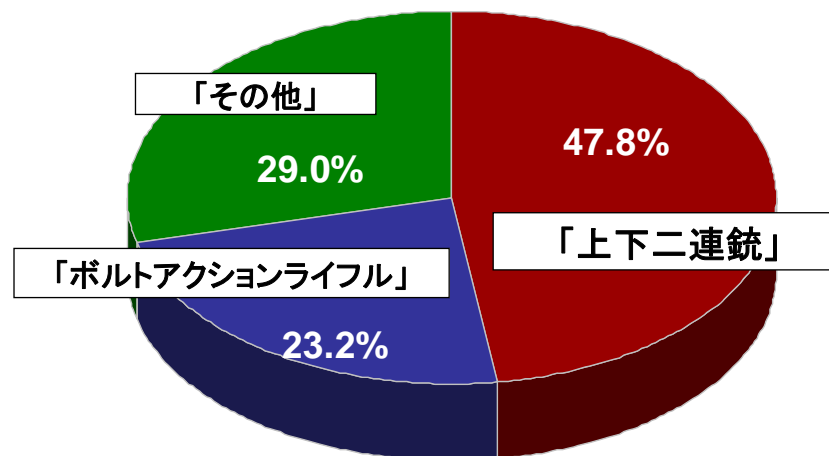
# 猟銃事業の特色と商品ラインナップ

1. 米国ブローニング社がビジネスパートナー。海外売上比率99%。
2. 機能的・堅牢性・芸術性が求められる「上下二連銃」に強い。
3. ライフルでは新製品「X-BOLT」の製造を開始。高評価を獲得。

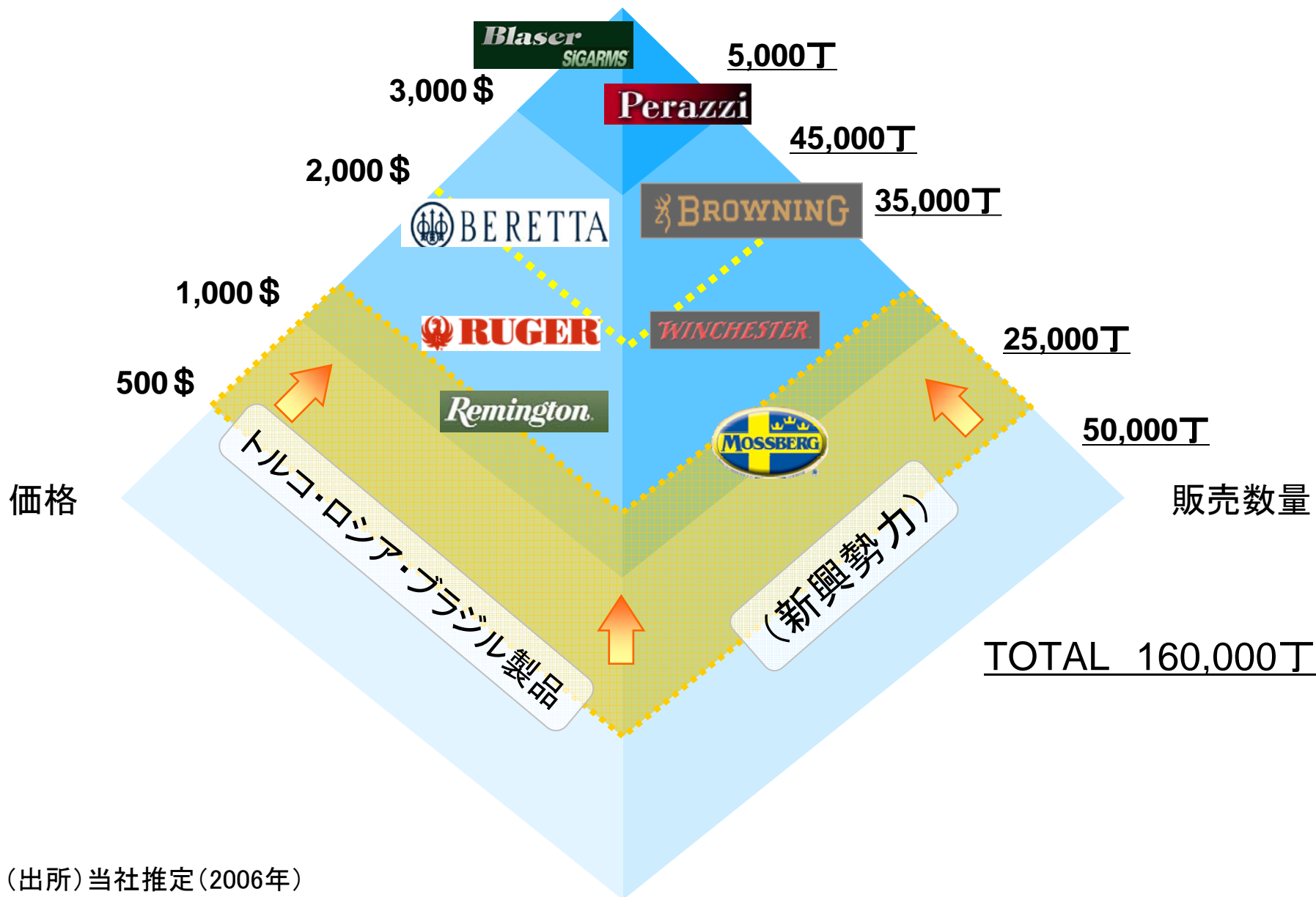
販売数構成：13万丁強（08/10期）



売上構成：7,182百万円（08/10期）



# 上下二連銃(ショットガン)の市場構造(米国の場合)



(出所) 当社推定(2006年)

# グローバル展開を支える「MIROKUの猟銃づくり」

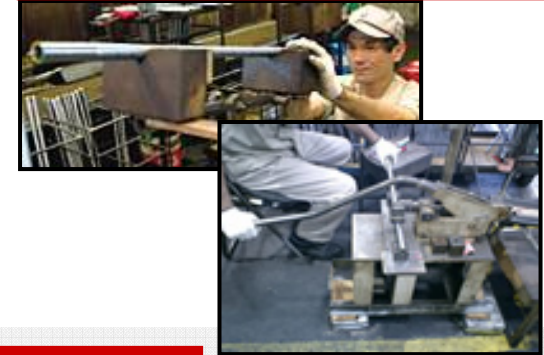
堅牢な銃床を作る目止め・磨き



銃身の孔あけ



熟練技術による曲がり直し



木材加工技術

Citori Privilege

深孔加工技術



彫刻技術

金属接合技術  
金属の精密加工技術

猟銃を個性的に飾る彫刻技術

- ・手彫り
- ・エッチング
- ・ローラー彫刻
- ・レーザー彫刻



熟練技術による仕上げ・調整・仮組み

- ・削り出し
- ・ゼロ嵌合



高圧に耐える銃身

金属精密加工技術・銀ろう付け



# 猟銃づくりの要素技術の活用

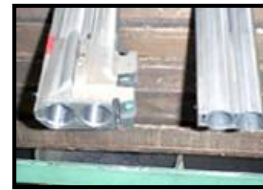
木材加工技術

堅牢な銃床を作る目止め・磨き



金属接合技術  
金属の精密加工技術  
彫刻技術

彫刻・銃身粗磨き・銀ろう付け



深孔加工技術

銃身の孔あけ



自動車関連事業

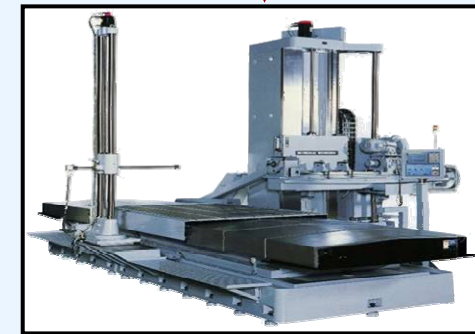


純木製ハンドル、純木製シフトノブ

工作機械事業



ツール(ガンドリル)

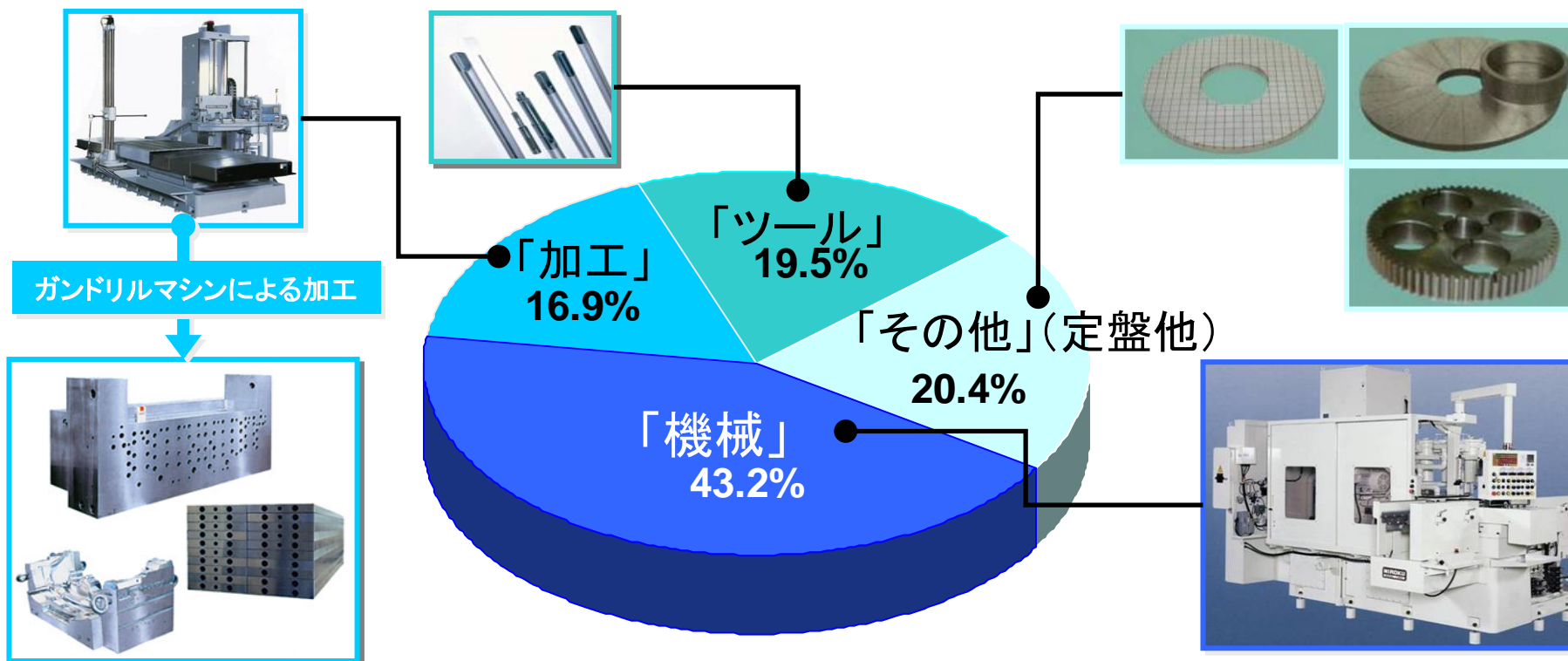


深孔加工機(ガンドリルマシン)

# 工作機械事業の事業内容・特色①: 全体構成

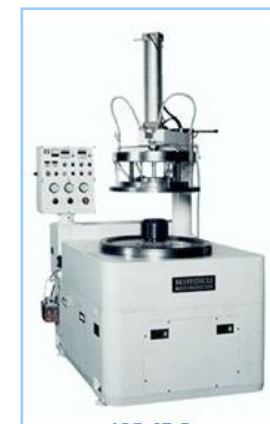
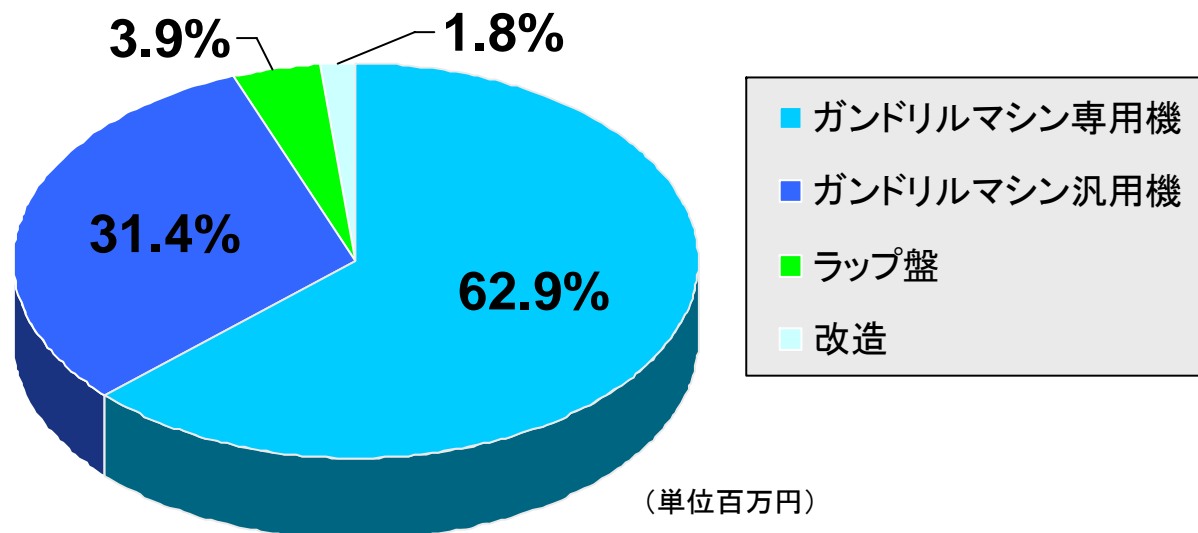
- 事業の支柱は特殊な深孔加工機「ガンドリルマシン」の製造販売。
- 主要販売先は「自動車関連業界」、取引先の6割以上を占める。
- 今後「機械部門」の廉価版及び「加工部門」に注力していく。

売上構成: 4,002百万円(08/10期)



# 工作機械事業の事業内容・特色②：機械部門

## 機械部門の売上構成(08/10期)



ラッピングマシン



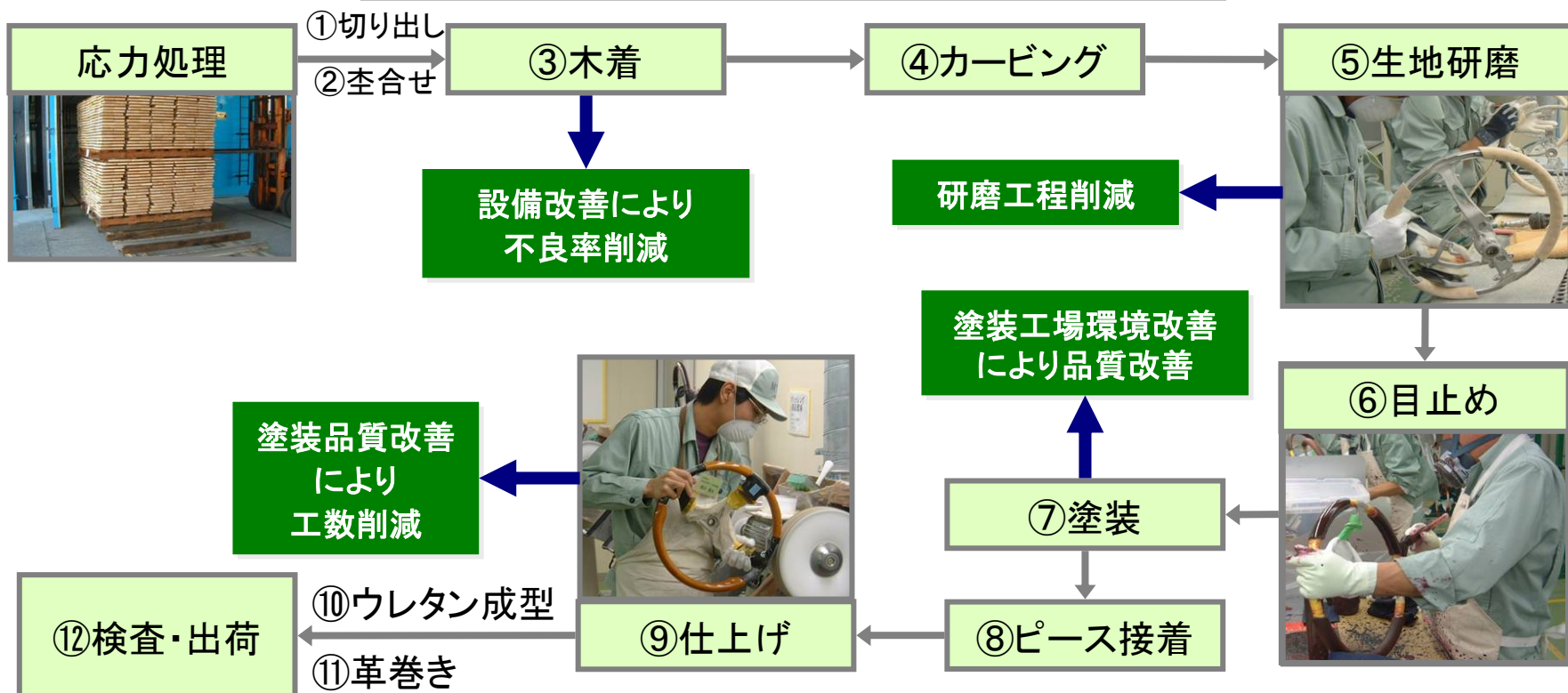
ガンドリルマシン

- ガンドリルマシン専用機：顧客のニーズ・仕様に合わせて製作する
- ガンドリルマシン汎用機：定められた仕様規格に合わせて製作する
- ラッピングマシン：大径シリコンウェハー、ハードディスク等の高精度研磨機

# 自動車関連事業の事業内容・特色

1. 「純木製ハンドル」が主力。美観、強度、触感に優れた逸品。
2. 工業“技術”と匠の“技”が融合。
3. 東海理化Gとの合併会社MTWが製造。トヨタ生産方式を実践。

## 主力製品「純木製ハンドル」の製造工程



# ミロクグループの“モノづくり”と“モノづくりの基本理念”

## — MIROKUグループの“モノづくり” —

最新の工業“技術”と  
匠の“技”の融合

高い精度と堅牢さ

自然素材へのこだわり  
(地球環境に配慮)、  
“五感”に訴求

“モノづくりの基本理念”

# HONESTY

正直でなければつukれない。

誠実でなければつukる資格がない。

- モノづくりに正直であること。 …モノづくりに込める匠の技と心
- 技術に正直であること。 …常に最良をめざす一途な探究心
- お客様に正直であること。 …お客様の声に真摯に耳を傾けること



2009年10月期第2四半期  
連結決算



# 連結決算概要

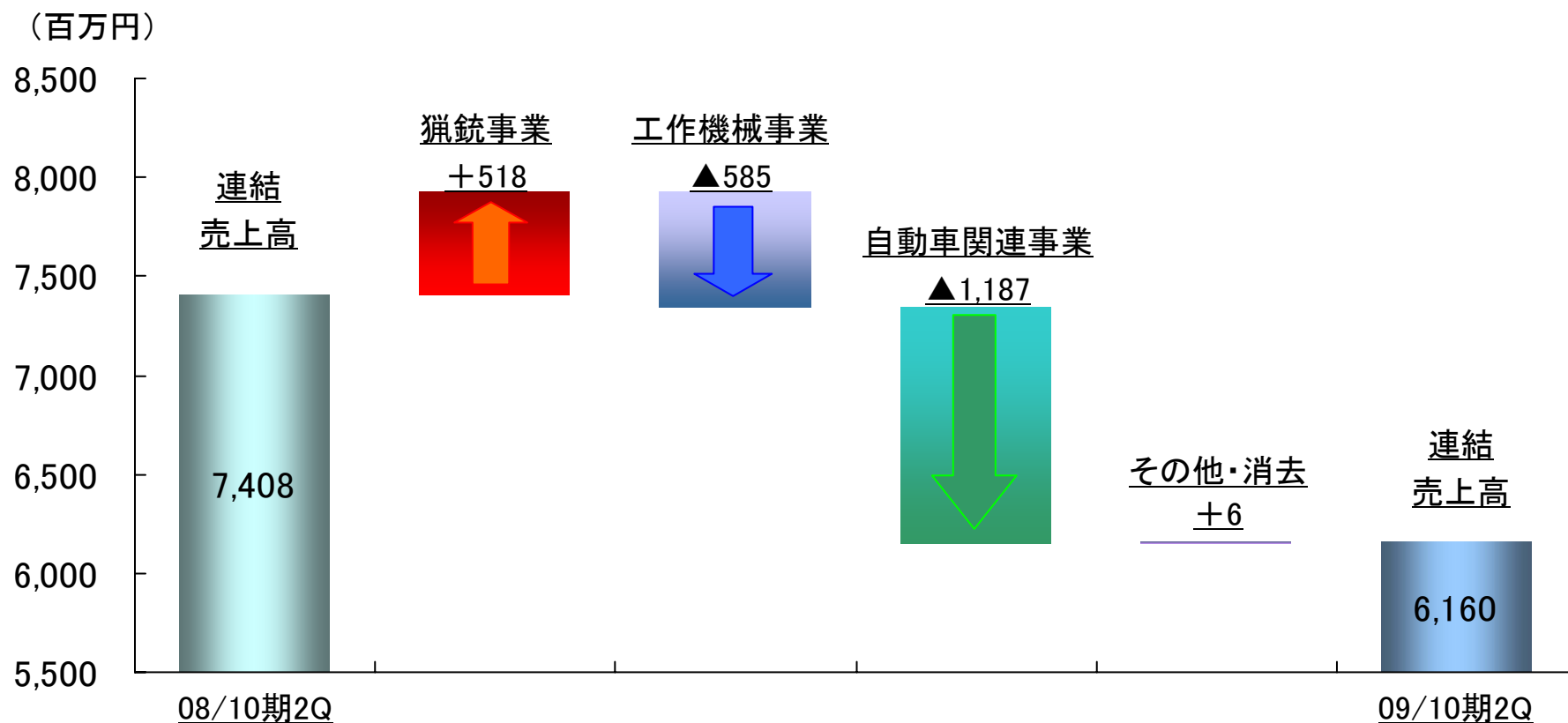
(百万円、%)

	08/10期 2Q累計	09/10期2Q累計		09/10期2Q 累計期初予想
			前年同期比	
売上高	7,408	6,160	83.1	6,460
営業利益	247	224	90.6	170
経常利益	379	201	53.0	150
当期純利益	218	161	73.9	140

\* 2008.12.16公表  
(期初予想)

- ▶ **売上高は期初予想に届かず、前年同期比83.1%減に減少**
  - ✓ 猟銃事業は期初予想を上回ったものの、工作機械事業が予想以上に低迷
- ▶ **営業利益は前年同期の水準に届かなかったが、期初予想を上回った**
  - ✓ 工作機械事業は低迷、猟銃事業が予想を上回る利益回復を実現

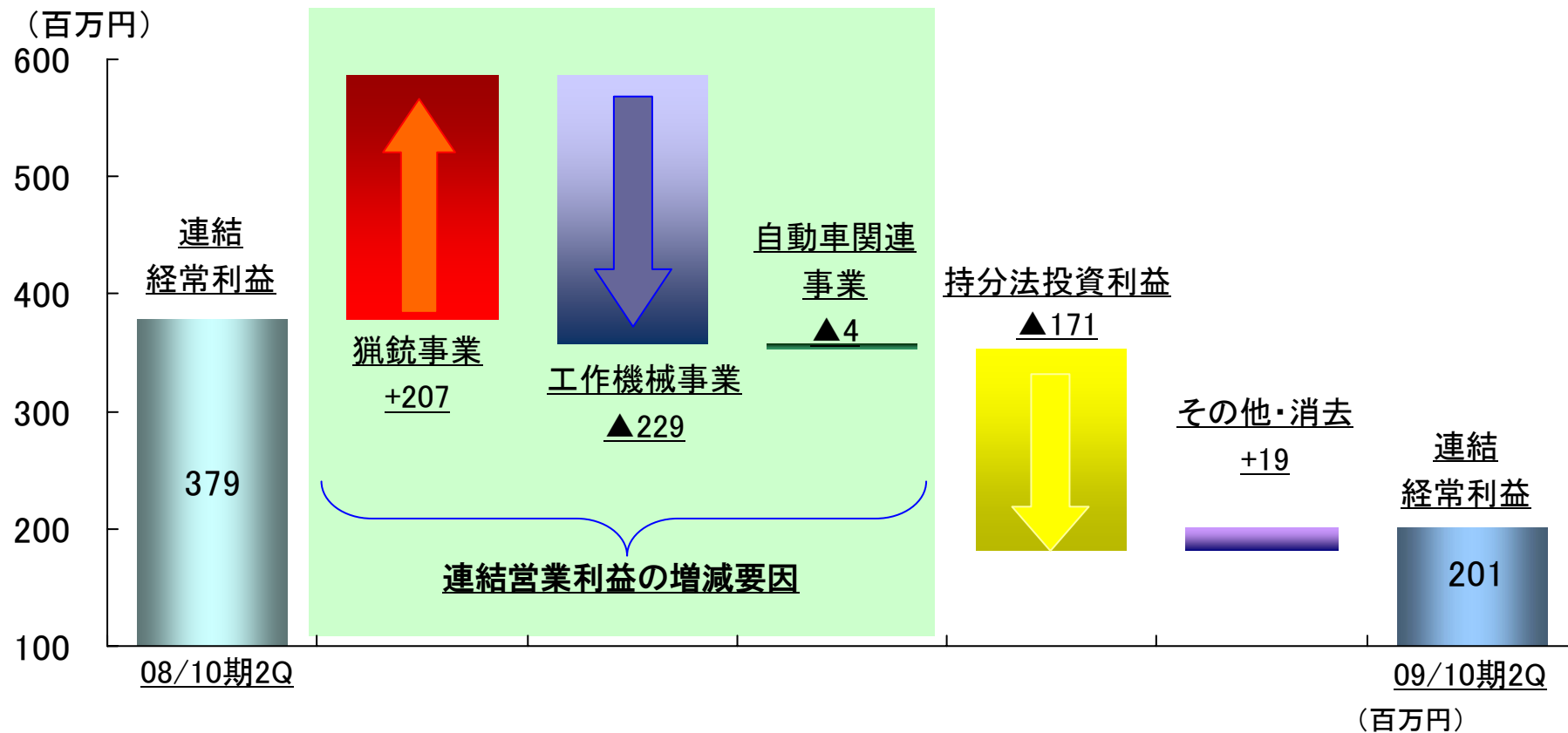
# 連結売上高



(百万円)

		08/10期2Q	09/10期2Q (左:金額 右:前年同期比)	
連結 売上高	猟銃事業	3,293	3,811	115.7%
	工作機械事業	1,845	1,260	68.3%
	自動車関連事業	2,254	1,067	47.3%
連結	営業利益	247	224	90.6%

# 連結経常利益

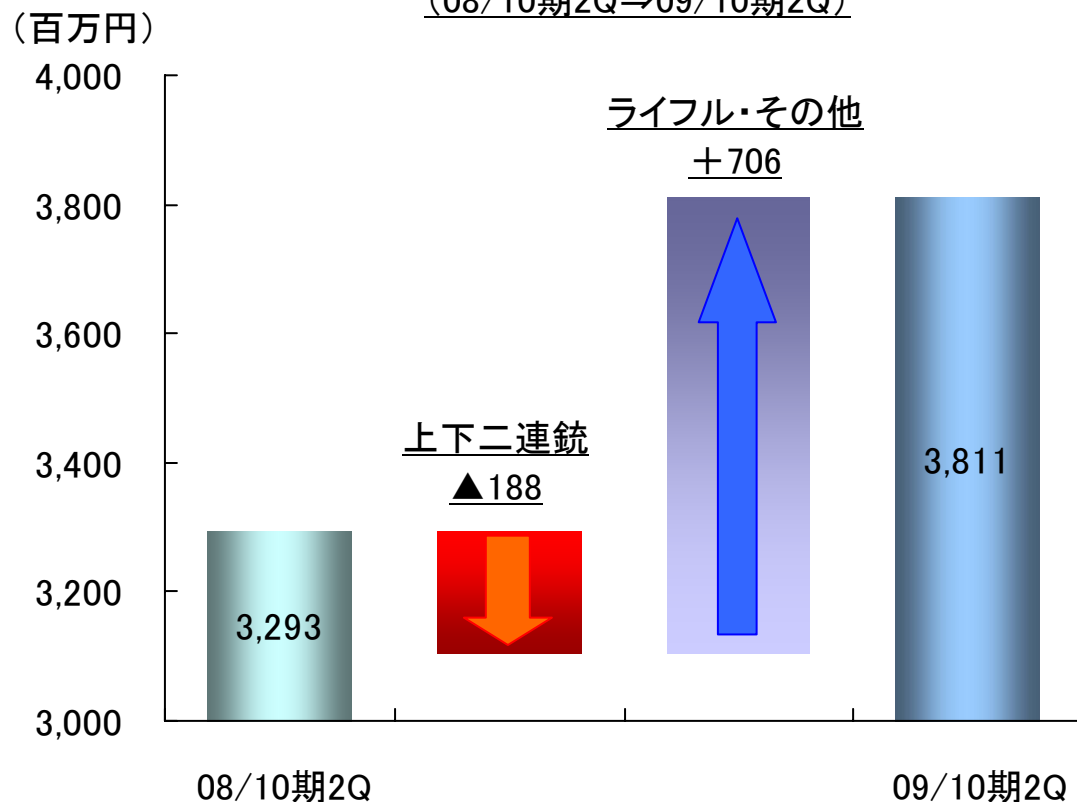


		08/10期2Q	09/10期2Q(左:金額 右:前年同期比)	
連結 営業利益	猟銃事業	27	234	838.4%
	工作機械事業	332	103	31.1%
	自動車関連事業	13	9	72.4%
連結 経常利益	連結経常利益	379	201	53.0%
	持分法投資利益	118	△53	—

# 猟銃事業：売上高・営業利益

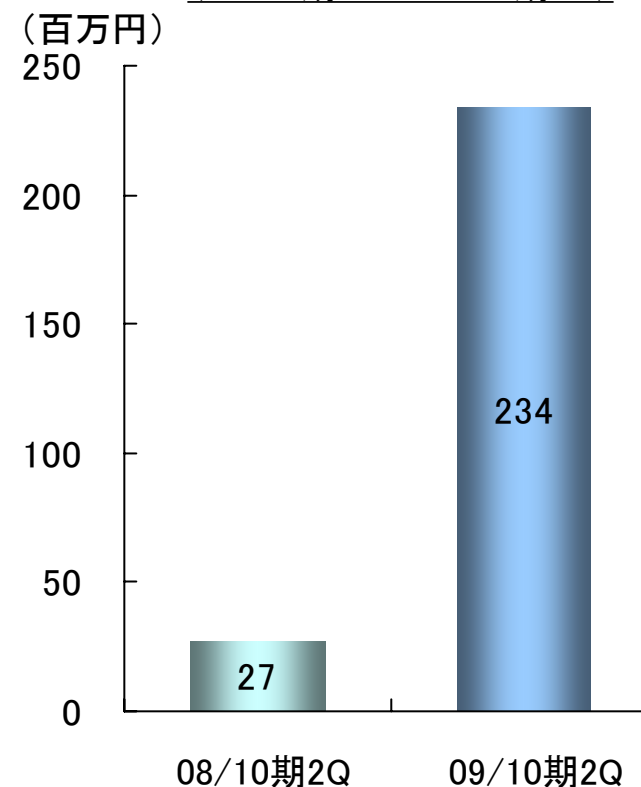
## 売上増減の内訳

(08/10期2Q⇒09/10期2Q)



## 営業利益の推移

(08/10期2Q⇒09/10期2Q)



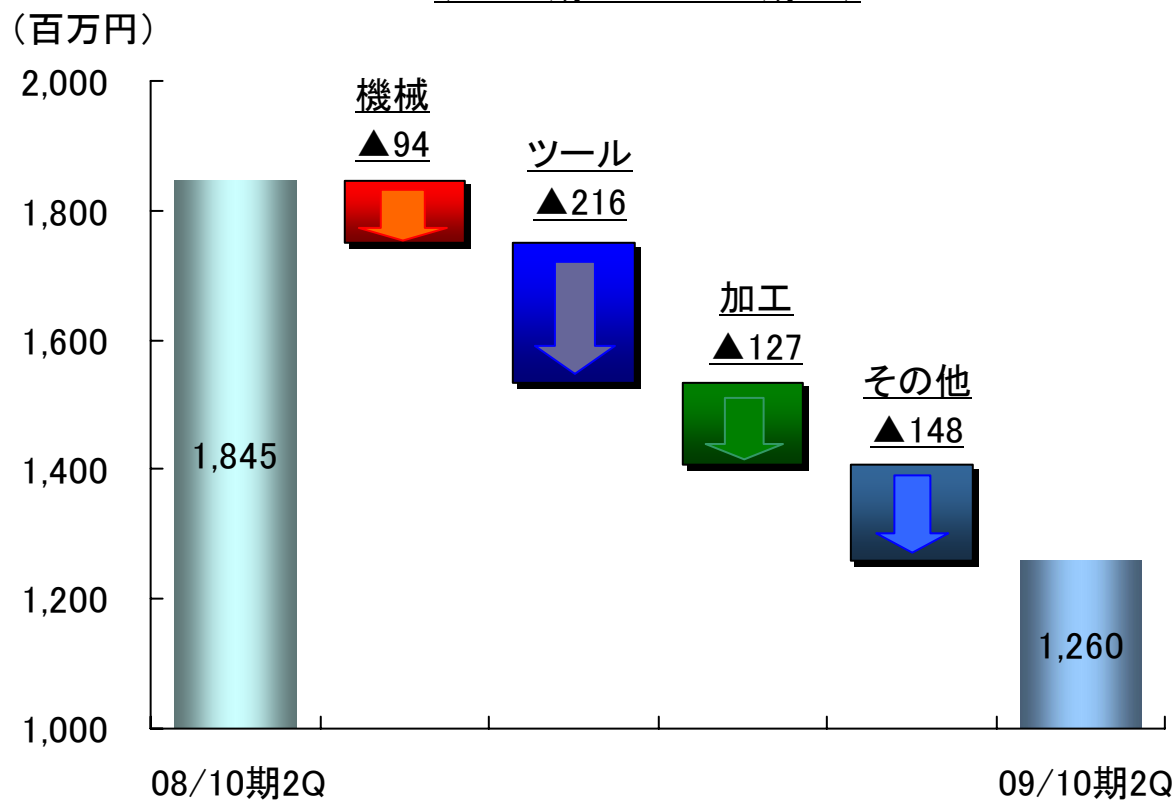
▶ **上下二連銃減少の中での増益。売上高営業利益率は6%台に上昇。**

- ✓ ライフルと安価なモデルの売上増加により、上下二連銃の減少をカバー。
- ✓ 新製品製造の習熟度の高まりから、ロスコスト等の抑制が進み、生産効率が上昇。

# 工作機械事業：売上高・営業利益

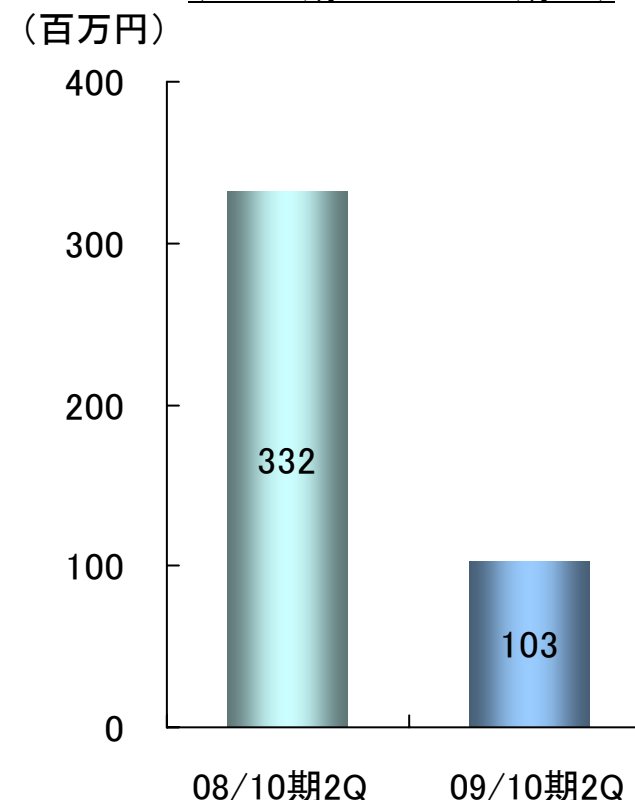
## 売上増減の内訳

(08/10期2Q⇒09/10期2Q)



## 営業利益の推移

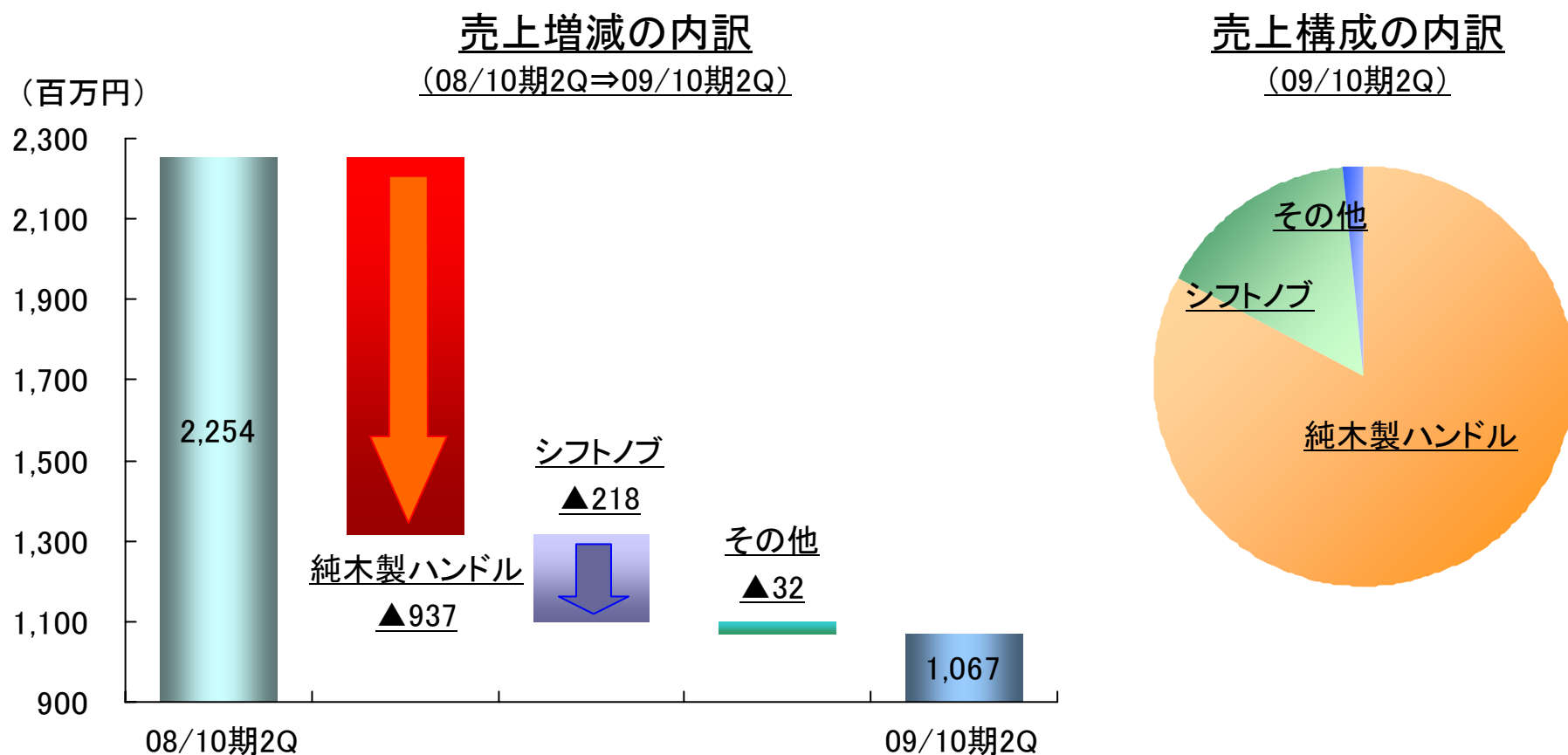
(08/10期2Q⇒09/10期2Q)



▶ 自動車・金型業界の景気悪化の影響から、期初予想を大きく下回る減収・減益

- ✓ ガンドリルマシンの販売減少により、機械部門の売上が減少
- ✓ 顧客の操業度低下から、ツール・加工部門も売上が減少

# 自動車関連事業：売上高



▶ 世界的な自動車不況により、純木製ハンドル、シフトノブともに売上が減少

✓ 2月を底に需要は回復してきたが、半期ベースでは大幅減収を回避できず。



## 2009年10月期連結業績予想

---



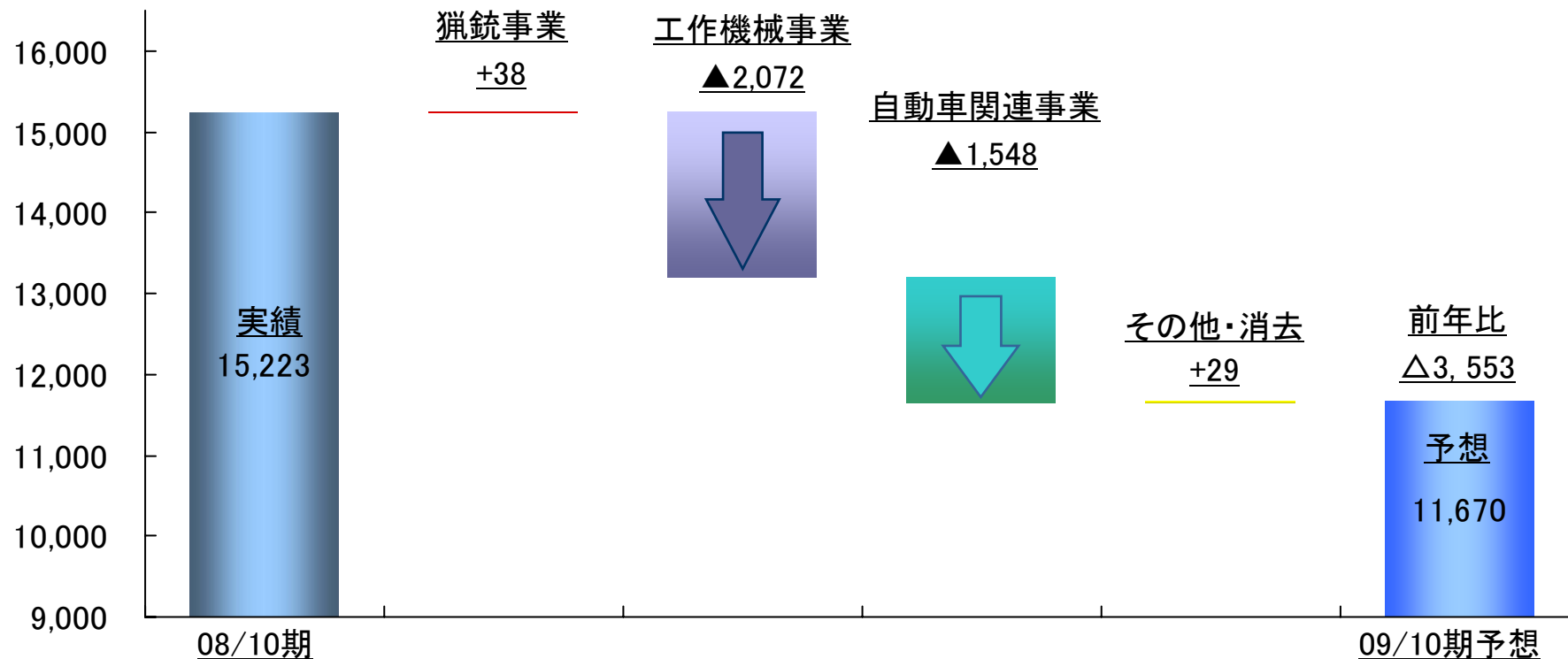
# 業績予想(要約)

(百万円、%)

	08/10期 (実績)	09/10期	
		(予想)	前年比
売上高	15,223	11,670	76.7
営業利益	705	-70	-
経常利益	967	10	1.0
当期純利益	556	80	14.0
設備投資	509	400	78.6
減価償却費	775	780	100.6

# 連結売上高予想

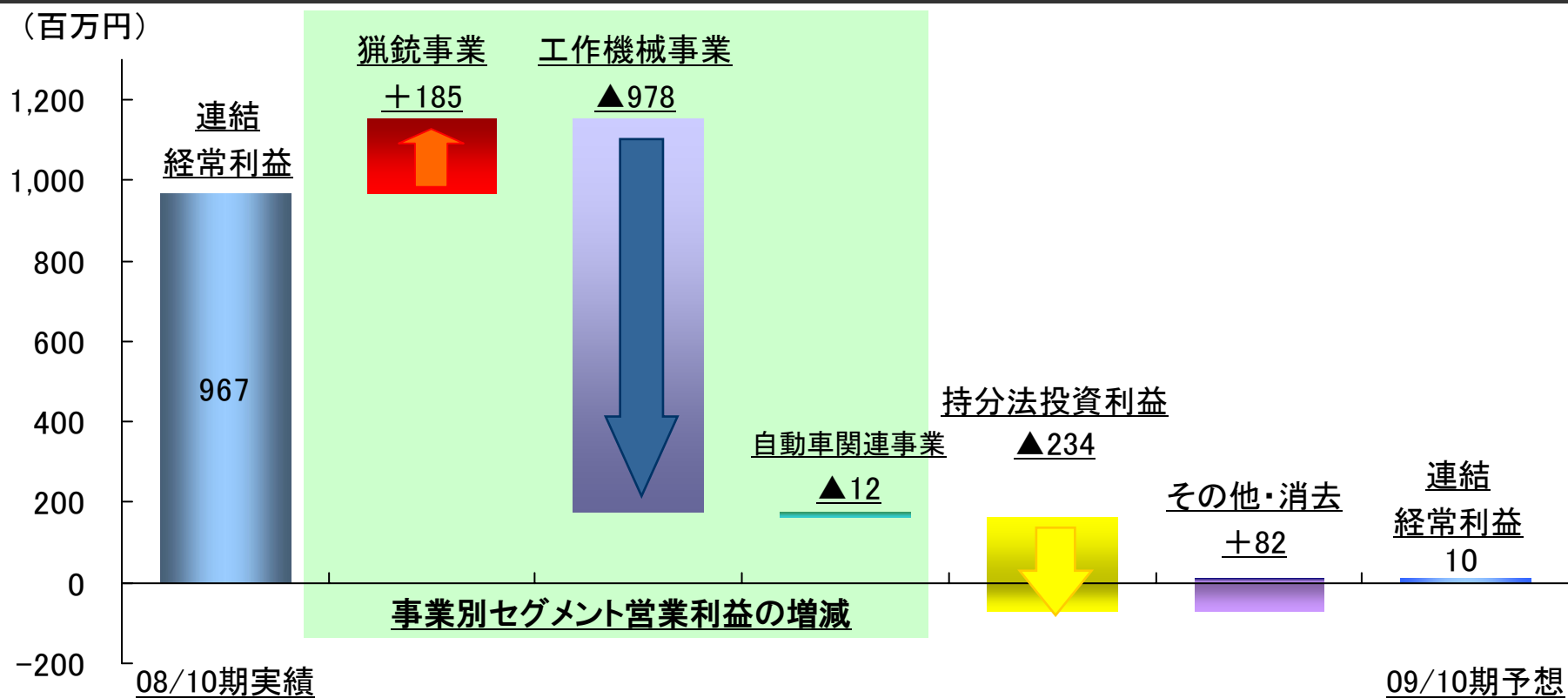
(百万円)



(百万円)

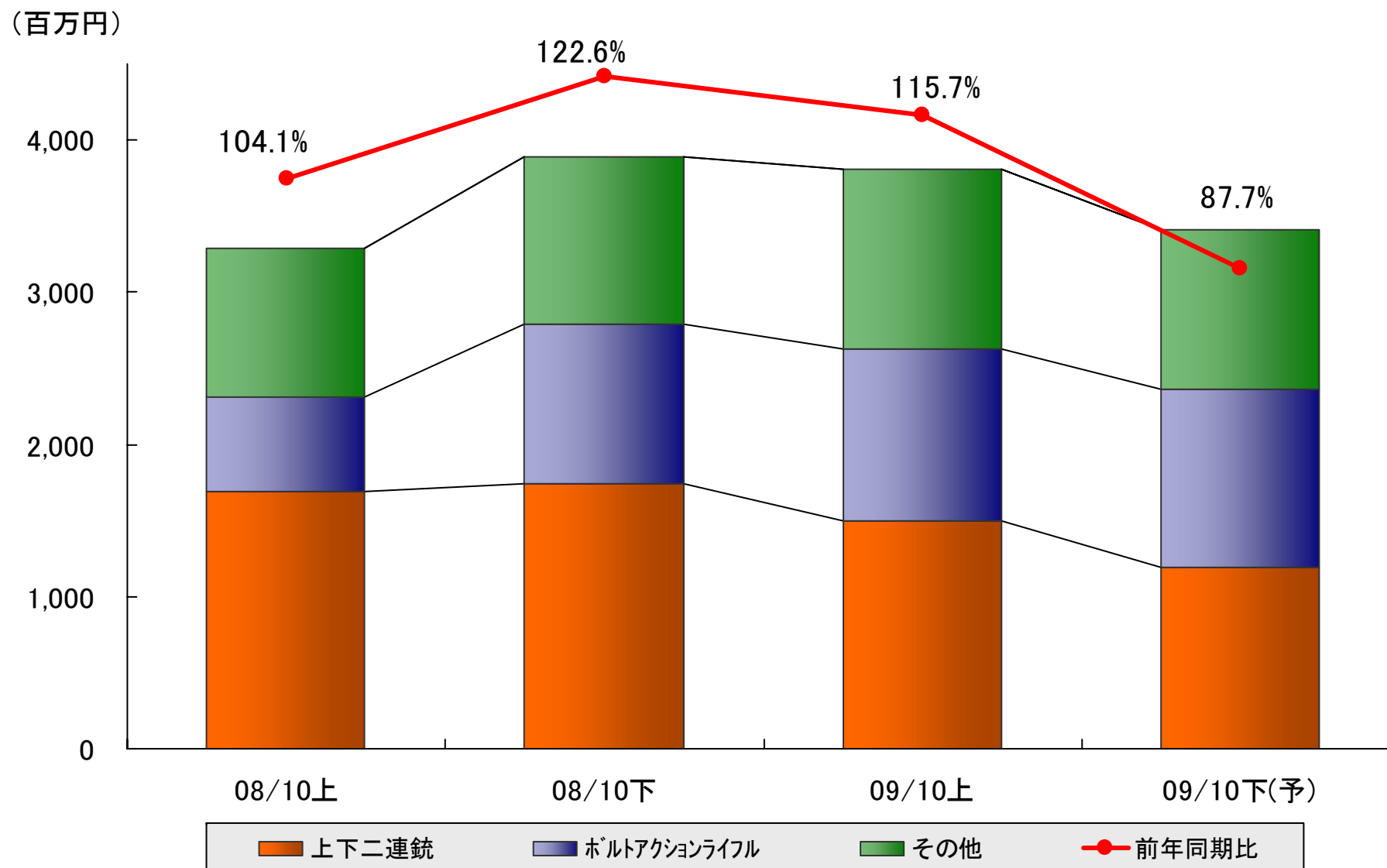
		08/10期実績	09/10期予想(左:金額 右:前年同期比)	
連結 売上高	猟銃事業	7,182	7,220	100.5%
	工作機械事業	4,002	1,930	48.2%
	自動車関連事業	4,028	2,480	61.6%
連結	経常利益	967	10	1.0%

# 連結経常利益予想

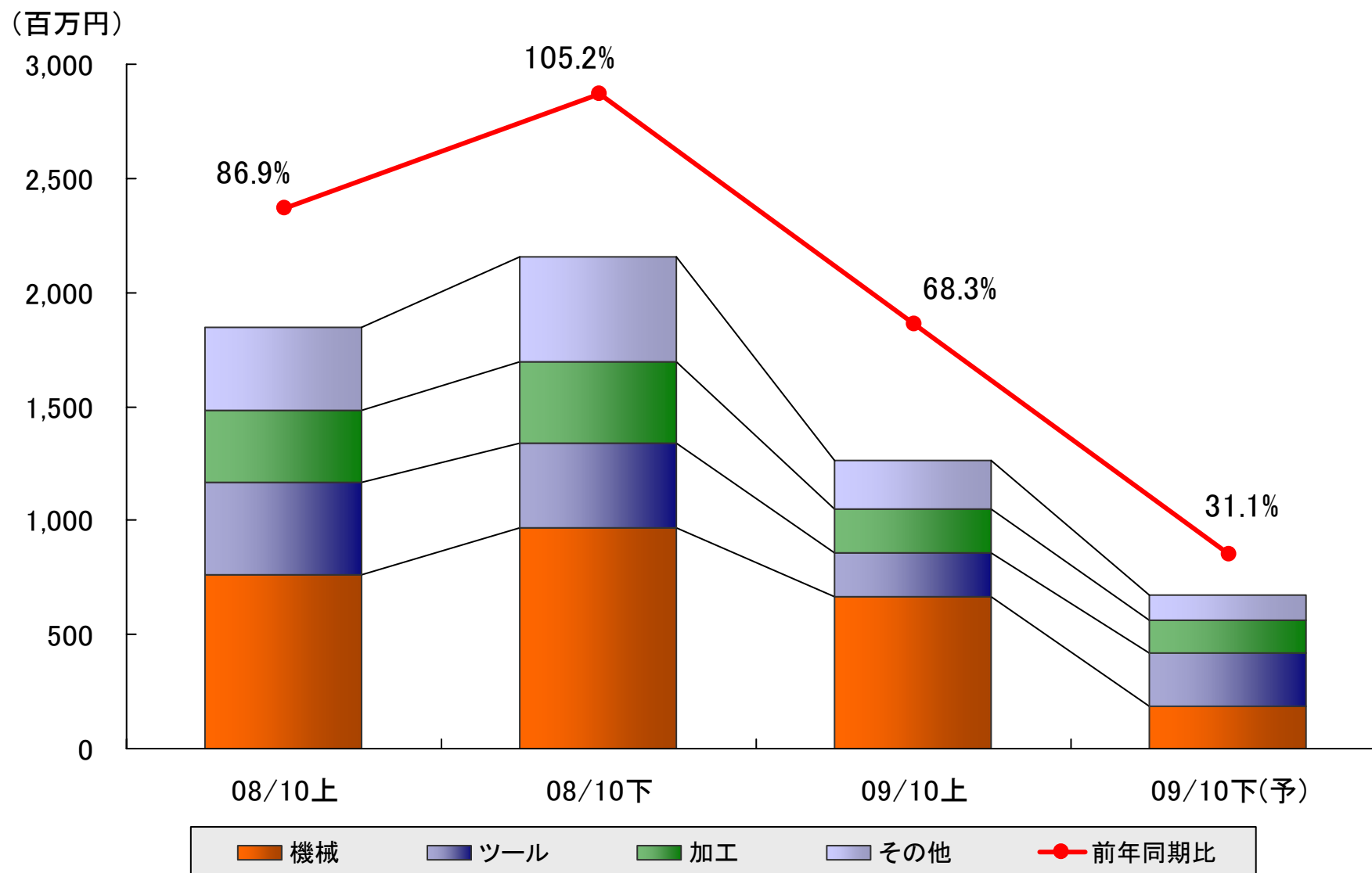


		08/10期実績	09/10期予想(左:金額 右:前年同期比)	
連結 営業利益	猟銃事業	125	310	248.0%
	工作機械事業	828	△150	-
	自動車関連事業	27	15	55.6%
連結 経常利益		967	10	1.0%
	持分法投資利益	177	△57	-

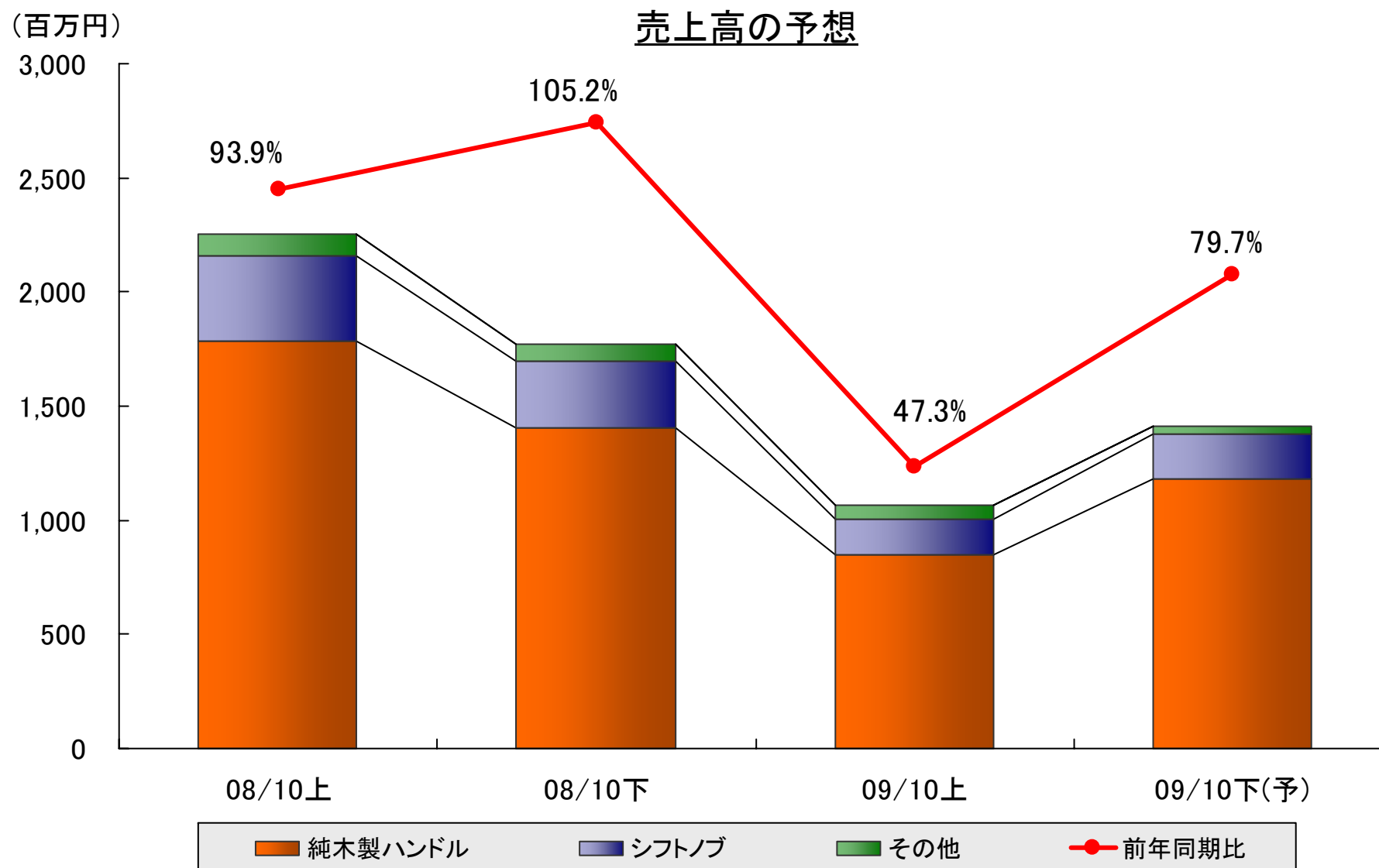
# 猟銃事業の予想



# 工作機械事業の予想



# 自動車関連事業の予想





# 自動車関連事業の現状と今後

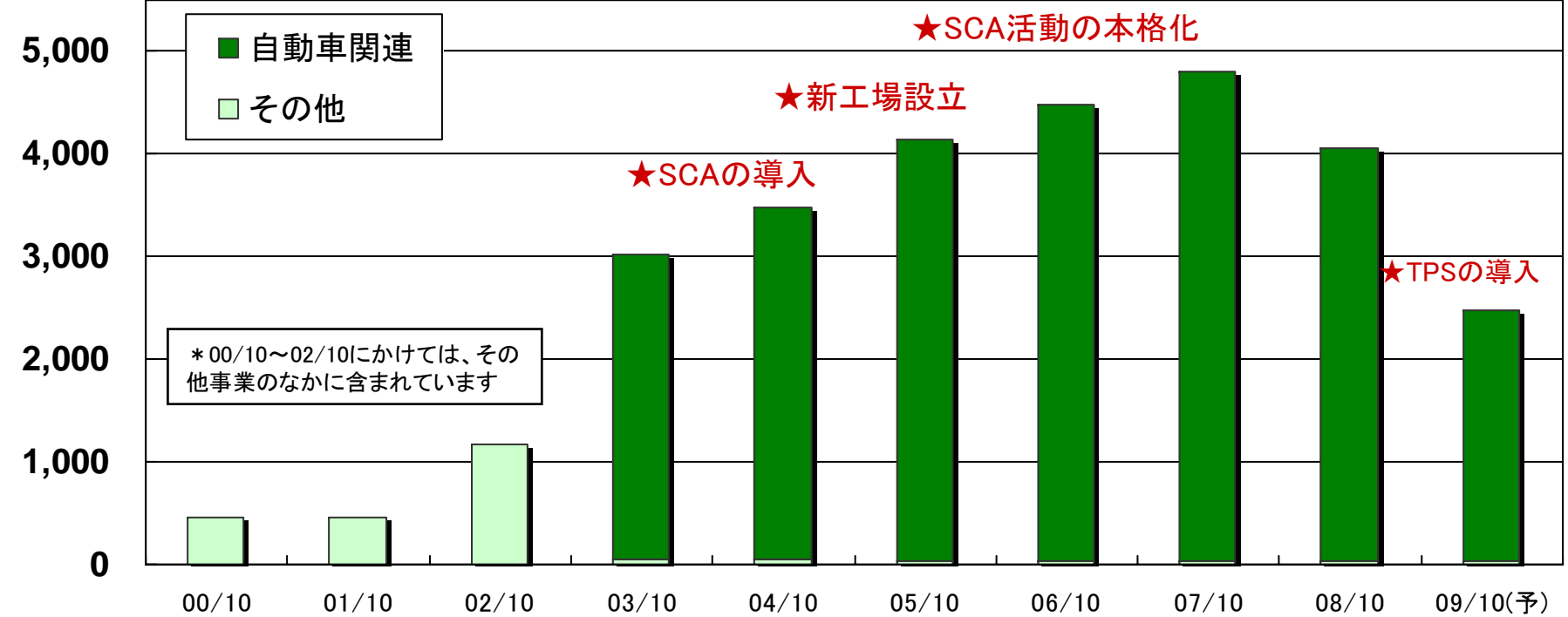
---

# 当社における自動車関連事業の位置づけ



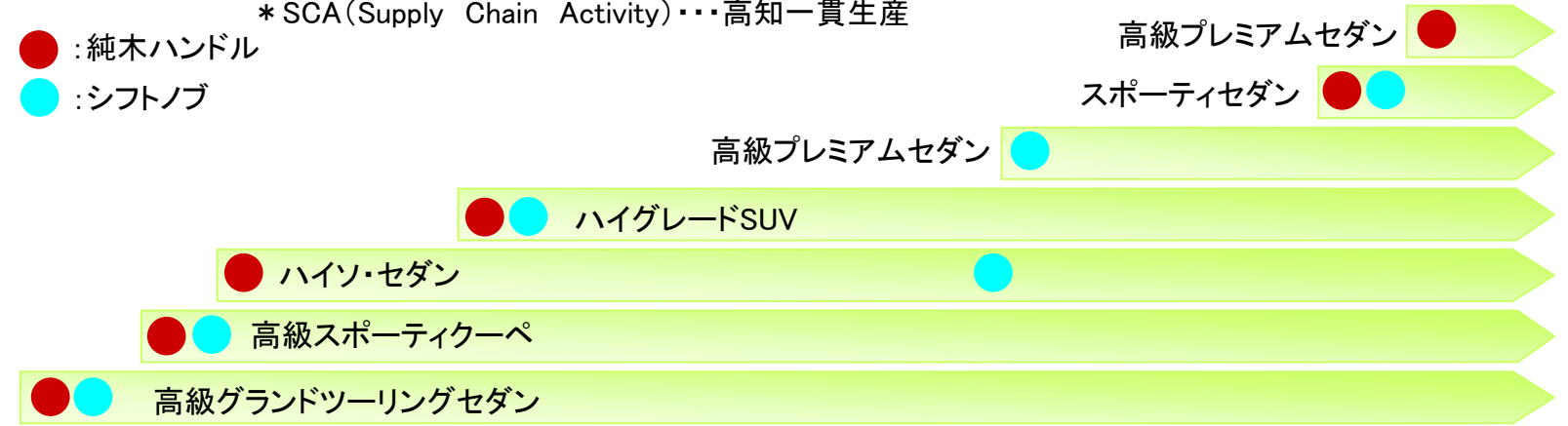
# 自動車関連事業の売上推移

(百万円)



\* 00/10~02/10にかけては、その他事業のなかに含まれています

商品の歴史



# 2009年度受注急減への対応

1. 1人当たり生産性の向上・・・工程改善（内製化）

2. 原価低減・・・・・・  
•設備投資及び設備保全計画の見直し  
•不要不急の経費の見直し

3. 従業員の意識改革



**持分法投資損益の改善に大きく貢献**

当初予想  
(08/12/16公表)

▲123百万円



今回予想  
(09/6/9公表)

▲57百万円

修正額

**+66**百万円

(注) 当社の自動車関連事業の中核会社はミロクテクノウッドであり、同社の業績は当社連結決算の持分法投資損益に反映されます。

# 最新トピックス:木質感の高いステアリングホイールの開発

世界初

新技術の採用により天然木本来の触感・風合いの表現に成功



- 樹脂含浸による表面処理
- 天然木表面の凹凸感  
≠ 鏡面クリアー仕上げ
- 従来品と同等の耐久性
- 猟銃製造技術や薬剤を木材に浸透させる建築用木材「ミロモックル」の技術を応用

# 新技術開発のポイント

1. 含浸液(樹脂)の選択

2. 天然材料を安定させる含浸条件の設定

3. 含浸木材の性能確認

4. 量産技術の開発

5. 高知県・東海理化・MTWによる共同開発

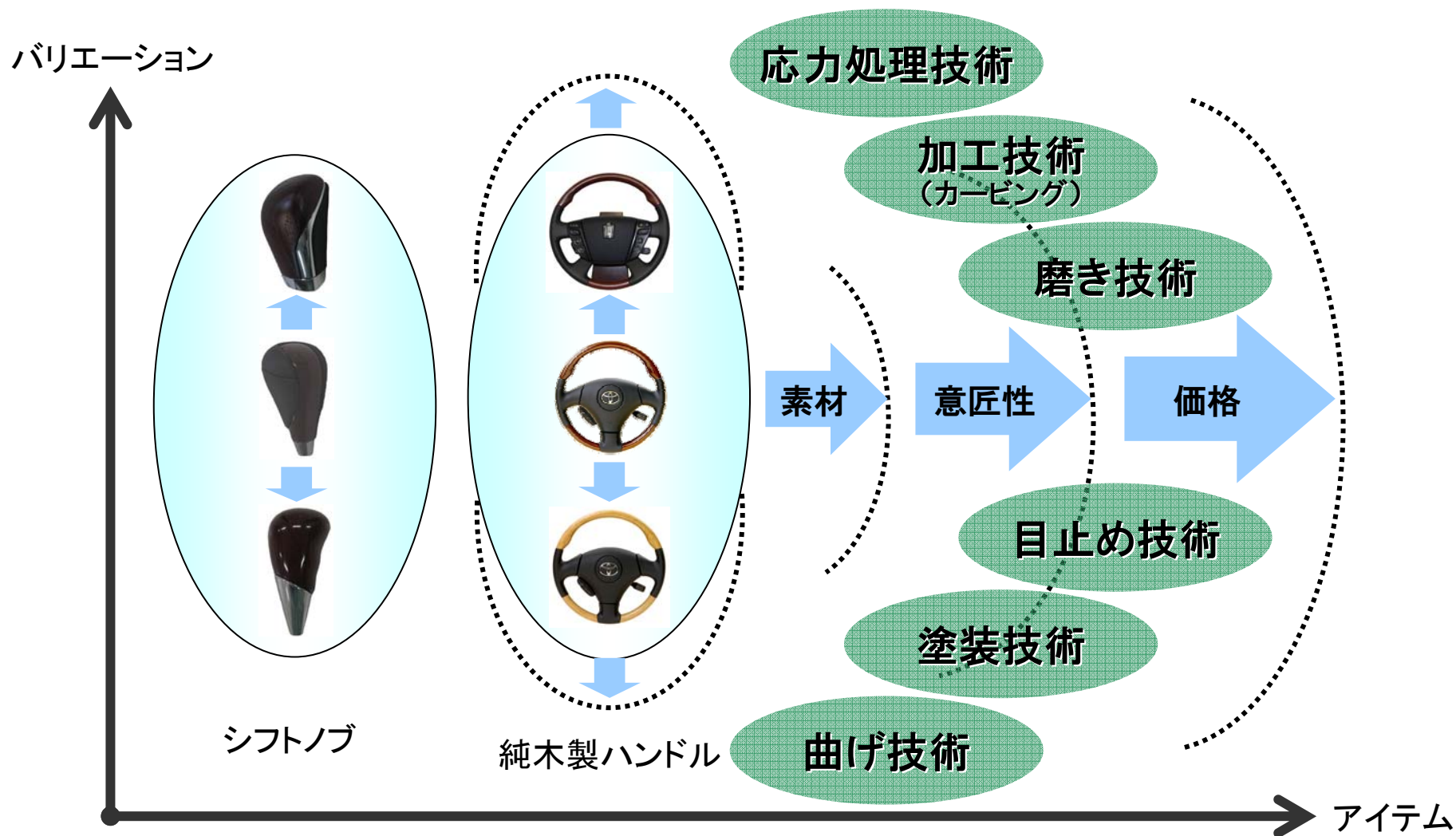
# 共同開発体制



今後も共同体制を強化し、内装部品等の開発を推進していく

# 今後の商品開発

天然木の改質改善技術、加工技術を高め、新アイテムを開拓





(ご注意)

本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。

